

学校教育目標	基礎を身に付け「夢」に挑戦する生徒の育成	経営理念	東広島教育の基本理念である、『『夢と志』をもち、グローバル社会をたくましく生きる人材の育成』のもと、未来社会を切り拓くための資質・能力の育成に努めるとともに、将来の夢の実現及び生涯の持続的な幸福に向け力強く生き抜いていく力を身に付ける。
--------	----------------------	------	--

評価計画							自己評価				学校運営協議会委員評価		改善方策	
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方策
							10月	2月						
確かな学力	2	○自ら考える自律した学習のできる生徒の育成	○学習意欲の向上と基礎学力の定着	○授業の振り返りによる自己評価	○各学力調査	全国平均以上	105.0%		105.0%	4	各学年の習熟度テスト、3年生全国学力・学習状況調査の結果、2年生国語・数学・英語、3年生社会以外は全て全国平均を上回っている。	A	・よく頑張っている。学習意欲の高まりがある。 ・先生方の指導のもと、大変良い結果になっている。	引き続き、学習環境を整えて授業改善を行っていく。
			○情報活用能力の育成と個別最適な学び	○ICT機器を効果的に活用した授業づくり	○ICT機器を授業で活用	90%	50.1%		55.7%	1	授業で電子黒板はよく使っているが、タブレットを活用があまりなされていない。	B	・活用例の共有が必要。 ・デジタルの利点を活かして何とお願います。 ・紙の教科書も大切にしたい。	タブレットの有効な活用方法について、教員間で共有していく。
			○思考力・判断力・表現力の育成	○自己表現活動や学び合い教え合い活動	○わかりやすく説明や発表	80%	66.0%		82.5%	1	昨年度に引き続き、わかりやすく説明や発表できている生徒が少な課題である。随時、学び合い活動の意義を理解させていく。	B	・わかりやすく説明とは、どの状態が生徒が分かる必要がある。 ・社会人になると特に必要となるので、力を入れていきたい。	グループ活動での話し合いのレベルを教員・生徒で共有し、意識してグループ活動を行っていく。
			○探究的な学習の充実	○本質的な問いによる授業改善	○授業がよくわかる	90%	90.6%		100.7%	4	90%以上の生徒が授業で単元のゴールを意識したり、学習した内容について、わかった点やよくわからなかった点を見直したりしている。	A	・組織的に取り組めている点が素晴らしい。	学び合いと振り返り活動を充実させていく。
豊かな心・健やかな体	1	○基本的生活習慣の定着と豊かな人間性・社会性の育成	○積極的な生徒指導の推進	○高屋中「生活四訓」の徹底	○気持ちのいいあいさつ	90%	89.1%		99.0%	3	「出会った人に気持ちのいいあいさつができています」に肯定的に回答した生徒の割合は、1年82.6%、2年86.7%、3年94.9%と学年が上がることに増えている。	A	・よい学校文化が築かれている。 ・とても良い挨拶ができていていると思います。	高屋中の校風の一つに定着させていく。
			○不登校生徒への支援の充実と未然防止	○未来ルールの経営と教育相談の充実	○不登校生徒前年より改善した生徒の割合	40%	48.1%		120.3%	4	前年度より改善した生徒の割合は、1年54.5%、2年50%、3年31.3%と学年が上がることに減っている。	B	・改善の要因は？ ・心の問題は難しいと思いますが、根気強く願います。	引き続き、欠席が続く生徒への支援を迅速に行っていく。
			○異学年集団での協働活動の推進	○学校行事・生徒会活動・部活動の工夫	○自己肯定感	80%	80.2%		100.3%	4	自己肯定感を図るアンケートに肯定的に回答した生徒の割合は、1年76.5%、2年79.9%、3年84.1%と学年が上がることに増えている。	A	・中1が低いのは、小学校の影響も大きい。 ・異学年での交流を多くもつことは人の成長に繋がります。	同学年・異学年交流の機会をできるだけ多くもち、お互いの良さを認め合える気運を醸成する。
			○キャリア教育の推進	○読書活動の推進	○本を読むのが好きです	80%	60.2%		75.3%	1	「本を読むのが好きです」に肯定的に回答した生徒の割合は、1年60.0%、2年66.5%、3年54.1%と、いずれも数値が低い。	B	・どう読む時間を確保するのが難しいですね。 ・図書室に行く時間を設けてはいいかながらうか。	調べ学習の機会を増やしたり、新刊図書を紹介をしたりして、図書室の利用を促していく。
信頼される学校	3	○周りの人に感謝し地域に貢献できる生徒の育成	○地域貢献活動の推進	○ボランティア活動への参加	○自己有用感	80%	83.5%		104.4%	4	自己有用感を図るアンケートに肯定的に回答した生徒の割合は、1年80.3%、2年82.0%、3年87.9%と学年が上がることに増えている。	A	・自己有用感とはとても大切。学年が上がるにつれて上がっているのはOK。 ・全員が参加し、人とのつながりの大切さを教えていきたい。	学級活動や行事等を行う際に、それぞれの役割をもっと臨ませて、人の役に立っている実感を与えていく。
			○小中連携の充実	○定期的小中連携連絡会の実施	○スマイルチャレンジの実行	80%	60.9%		76.1%	1	ノーテレビ、ノーゲーム、ノーネットの実行ができた。と回答した生徒の割合は、それぞれ74.6%、73.3%、34.9%であり、SNSや動画視聴などのノーネットが実行が難しい。	B	・学校が取り組めることには限界がある。 ・65%の生徒ができていれば良好と思われる。 ・ノーテレビなどの時間、家の手伝いなど何をしたかアンケートをしてもいいかなと思います。	生徒の時間の使い方工夫したことや生徒・保護者の肯定的意見を紹介し、取組の意義を伝えていく。
			○保護者・地域への情報発信	○通信の発行及びHPの更新	○学校の様子がよく分かります	95%	81.5%		85.8%	2	「学校の様子がよく分かります」に肯定的に回答した保護者の割合は、1年83.2年73.8%、3年87.0%と2年生保護者の割合がやや低い。	A	・学校がうまくいっていると、評価も高い。 ・東広島市HPにもUPされており、よくわかると思います。	大志坂(学校通信)や学年通信を充実させていく。
			○働き方改革の推進	○整理整頓、期限厳守、業務の明確化等	○時間外在校時間月平均	45h以下	46.2h		97.4%	3	時間外在校時間月平均は、4月56.2h、5月52.5h、6月56.4h、7月46.2h、8月16.4h、9月48.6hであった。	A	・職員の意識づくりが大切ですね。 ・先生の気持ちの余裕は生徒にも伝わるので、働きやすい環境をお願いします。 ・8月を除くと52hであり、適切とは言えない。	引き続き、働きやすい職場環境整備と教職員の健康管理に努めていく。

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

■自己評価

4...目標を上回って達成
(100≦達成度)

2...目標をやや下回って達成
(85≦達成度<95)

3...目標どりに達成
(95≦達成度<100)

1...目標をかなり下回って達成
(達成度<85)

■学校運営協議会委員評価

A...とても適切である

B...概ね適切である

C...あまり適切でない

D...全く適切でない
(N...判定できない)